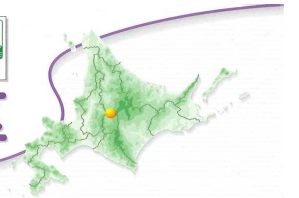


# 国営農地再編整備事業 富良野盆地地区



旭川開発建設部



## 1. 事業目的と概要

既耕地を再編整備する区画整理と水田の地目変換による農地造成を一体的に施行し、生産性の高い基盤の形成と土地利用の整序化を通じ、農地経営の合理化と効率的な土地利用を図り、農業の振興を基幹とした本地域の活性化に資することを目的とするもの。

事業着工 平成20年度  
事業完了 令和 2年度



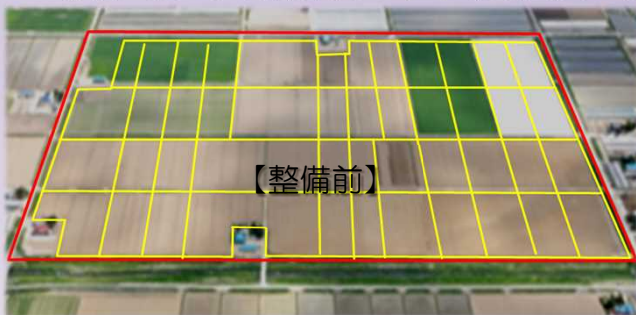
受益面積 2,217ha  
(富良野市、中富良野町)

■区画整理	1,943ha		
■農地造成	274ha		
■用水施設	用水路 1条	L=0.8km	
■排水施設	排水路 4条	L=3.1km	
■道 路	幹線道路 1条	L=2.8km	

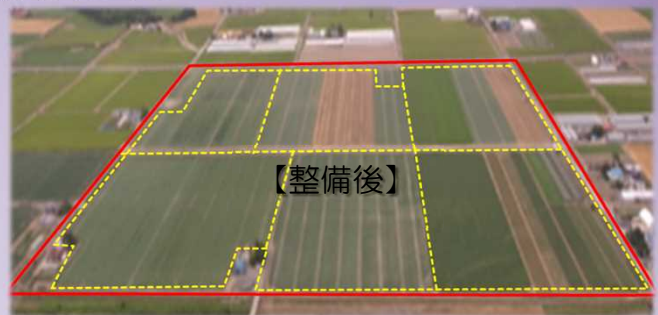
## 2. 事業実施

### ■ 区画整理

狭小な区画を解消し、営農経費の節減等を図る



- ・46区画
- ・30~50a/区画



- ・6区画
- ・1.5~2.3ha/区画

### 〔暗渠排水〕

ほ場の排水機能の低下を解消し、作物の収量や品質の向上を図る



### 〔客土〕

作物の収量や品質の低下等を解消し、物理性および化学性の改善を図る





## ■ 農地造成

水田の地目変換により、効率的な土地利用の高度化および労働生産性の向上を図る



## ■ 用水施設

用水路のパイプライン化により、水管理の効率化、省力化を図る



## ■ 排水施設

農地の過湿被害を解消し土地生産性の向上と農作業の効率化を図る



## ■ 道路

幅員狭小を解消し、農産物流通の合理化や農村の生活環境の改善を図る



## 3. 事業実施の結果



## ■ 担い手農家への農地の集積

農地分散を解消し、担い手への土地集約化が進むことにより、ほ場の大区画化も促進

## ■ ほ場の大区画化に伴う大型作業機械利用体系の確立

ほ場区画の拡大と排水改良による農作業機械の走行性の向上から、大型作業機械利用体系の確立へ



## ■ 区画整理による作業効率の向上

支線農道の整備による作業効率の向上、および末端用排水路整備による、水管理の効率化



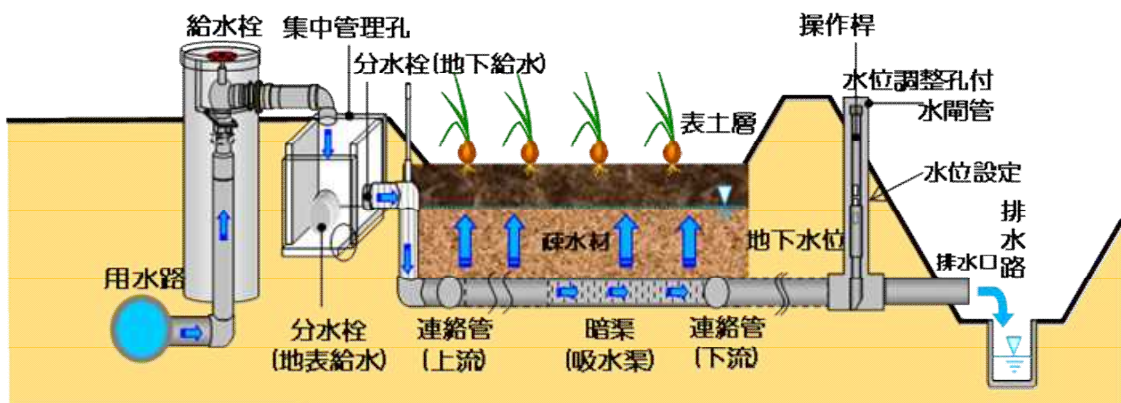
## 省力化営農技術の導入

～地下水水位制御システムの整備～



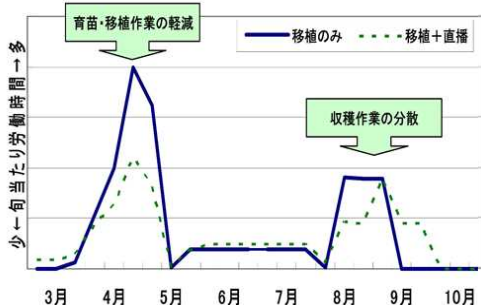
## ■ 水稻の乾田直播

地下水水位制御システムは、地下からの給水で湛水を均一にすることができるため、生育初期の浅水管理が容易となり、地表かんがいに見られる用水口周辺に播種した種籾の流亡を防いで、生育や収量の改善が期待される



地下水水位制御システムイメージ図

○ 直播栽培技術導入による労働時間の変化のイメージ



労働時間も軽減、分散



集中管理孔と給水栓



水位調整孔と排水口

## ■ たまねぎ栽培の地下かんがい

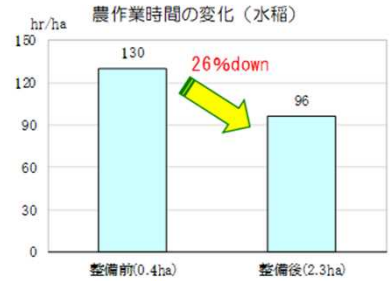
地下水水位制御システムの仕組みを利用した地下かんがい栽培（たまねぎのかん水）は、リールマシンによる散水かんがいに比べて燃料代や農機具費などのコストを削減することができる



## 4. 事業実施の効果

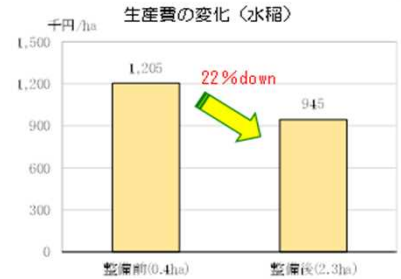
### ■ 営農時間の削減

ほ場の大区画化、暗渠排水の整備により、整備後の圃場では大型作業機械への転換が図られ、旋回回数の減少や作業速度が向上し、水稻に係る営農時間は26%削減



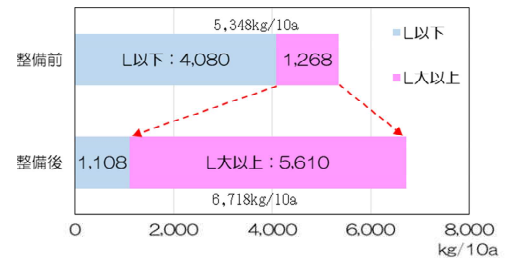
### ■ 生産費の削減

労働時間の節減によって農業機械経費や投下労働力が削減され、農業機械の共同化も合わせると、22%の生産費が削減



### ■ 収量増加、品質向上

大区画化や暗渠排水等の整備による機械化の促進、末端用排水施設の整備により「たまねぎ」の収量が増加し、品質も向上



## 事業を契機とした

### 生産拡大と地域収益力の向上



### ■ たまねぎの生産拡大

事業効果の発現とあわせ、地域の取り組みによる通年出荷体制の確立と茎葉付収穫体系の普及が、生産拡大を後押し



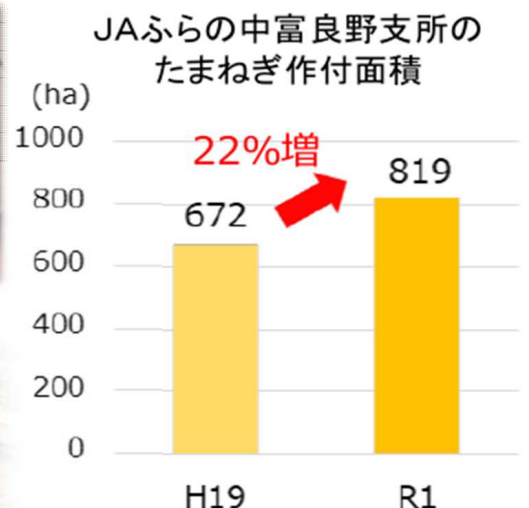
エチレン貯蔵庫



CA貯蔵庫



茎葉処理施設

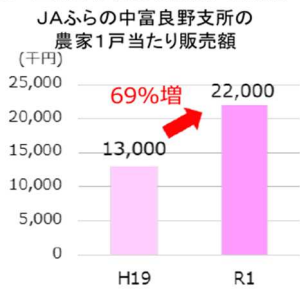


資料: JAふらの調べ

## ■ 地域収益力の向上

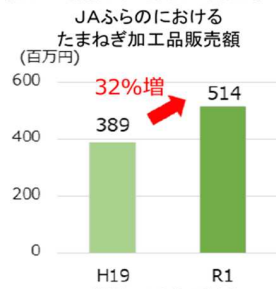
たまねぎの生産拡大に伴い、JAふらのの加工品販売も拡大、若手の農業者も増加

### 【戸当たり販売額の増加】



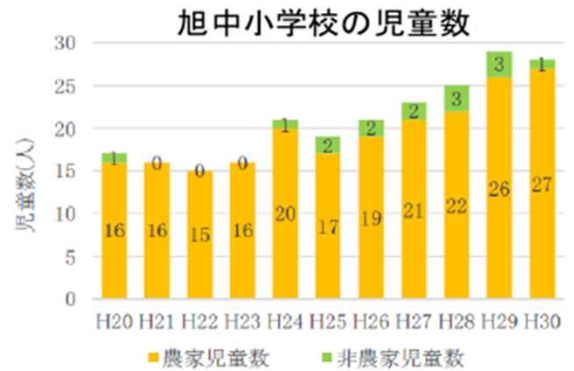
資料：北海道開発局調べ  
(JAふらの資料をもとに試算)

### 【加工品販売額の増加】

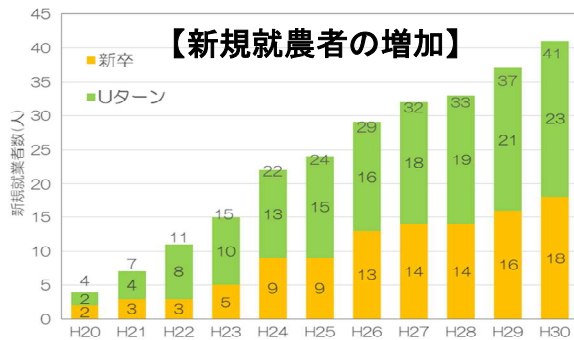


資料：JAふらの調べ  
たまねぎ加工品は、剥きたまねぎ及びソテーオニオン

### 【小学校の児童数も増加】



若手の農業者が増加し、地域の小学校の児童数も増加



## 5. 現在の地域農業

### ■ スマート農業導入推進

### ■ 乾田直播栽培の取り組み（播種作業専用機械）



トラクタ自動操舵システム導入



ドローンの活用



播種作業専用機械